

NPO マネジメント共育ネットワーク・創発倶楽部共催
第 10 回経営寺子屋

「第4次産業革命とはなにか」

講師：富田達夫氏
情報処理学会会長

NPO マネジメント共育ネットワーク(MCN)と創発倶楽部 が共催する「経営寺子屋」第 10 回は、情報処理学会会長の富田達夫氏を講師にお招きし、3 月 16 日にプラットフォーム南青山で開催されました。当日のテーマが、いま社会が注目する「第4次産業革命」ということもあり、的を射た講義に続き、満員の参加者との活発な質疑応答や意見交換で非常に有意義な2時間となりました。



富田氏の講演は、まず産業革命や ICT 技術の変遷、海外の動きなどの背景から新時代を支える技術 (IoT、ビッグデータ、AI) の解説、その豊富な事例紹介を経て、私見を含めた未来像に至り、そこでは大きな可能性と同時に、脅威やリスクが具体的に語られました。その後の熱心な議論は、そのイメージをもとした参加者の知見が飛び交ったものであり、そこでは単なる「産業革命」を超えて、「社会革命」が確実に到来することが明確に浮き彫りになりました。

最後に司会が、理系の人間は「オープンシステム」への適応、文系はそれに伴う「ガバナンス」の探求を急ぎ、その相補、相乗効果をつうじて「新技術をうまく活用しながら社会的な課題を解決し、より善い未来を切り拓いていく」という我が国の方向性を示し閉会しました。

以上